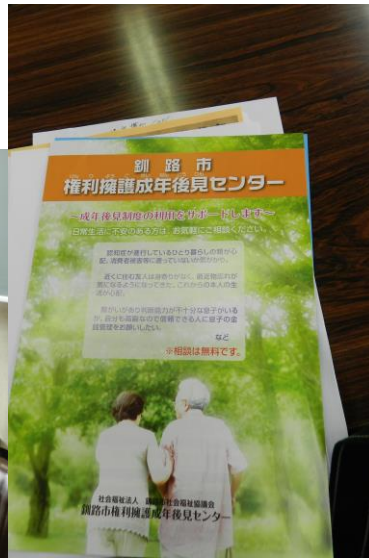


行政視察報告書

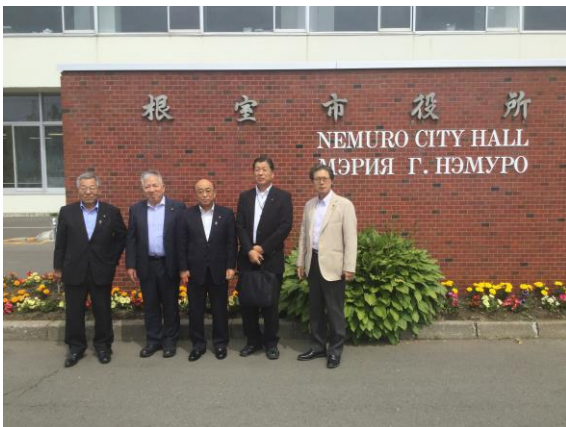
委員会名（会派名）	大河の会、公明党議員団（渡邊雄三議員）	報告者	渡邊 雄三
視察日程	令和元年7月3日～7月5日		
調査事項 及び 視察地	① 釧路市 市民後見人制度	釧路市権利擁護成年後見センター	
	② 根室市 北方領土問題	北方領土への取り組み	
	③ 網走市 特定事業主行動計画	第二次網走市特定事業主行動計画について	
参加議員（委員）	斎藤 信行、丸山 吉朗、塙 豊、大原 伊一、渡邊 雄三		
①	【調査目的・内容】 市民後見人を採用することで、市民に受け入れられているのか、また、安心して活動する体制は整備されているのか、現場の声を聴いた。		
	【所感】 本市は、成年後見人制度はあるが、市民の認知度が少ない。今後益々高齢化が進む中、本市も市民後見人制度が必要になる時が来る。その時に、今回学んだ事を参考にして、高齢者や障がいがあり、判断能力が不十分な方等で、後見人を必要とする方々が安心して生活を送れるように体制作りに努めたい。 また、同様に市民後見人になられた人が安心して支援活動できる体制を推奨していきたい。		
②	【調査目的・内容】 我が国の固有の領土である北方領土は、戦後67年が経過する中、未だ返還が実現されてない。現在、どのような環境下にあるのか等、現地の状況を視察した。		
	【所感】 北方四島は、我が国固有の領土と思っていたが、現地を視察して複雑さを改めて知った。館長から戦中戦後のロシア軍の動きを聴き、あまりにも一方的な侵略に意気道理を感じるとともに、一日も早く返還交渉が行われ、元島民家族が再び生活できるようにしてもらいたいと感じた。 これまで締結した条約「日露通商条約・樺太千島交換条約・サンフランシスコ平和条約」を見ても北方四島は、我が国固有の領土であることを改めて確認することができた。安部政権の下で、素早く政治決着を望みたいし、今一度考えさせられた。		
③	【調査目的・内容】 次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づき、事業主として、職員が仕事と子育てを両立できる体制をどのように事業として計画されたのか調査する。		
	【所感】 「次世代育成支援対策推進法」、「女性活躍推進法」に基づく行動計画が策定されることで、制度の認知度が上がるとともに、男性の育児への関りを強化出来たり、育児休業を取得しやすい環境整備が整っていたり、職場優先の環境や固定的な性別役割分担意識等の是正ができていたと感じた。網走市において、今後はこれまでの成果と課題を整理して新たな取り組みを開始することを検討している。 燕市もイクボス宣言の制度がある。今後、燕市職員が仕事の効率向上とともに女性活躍ができる職場になるよう注視していきたい。		

【視察の様子】

① 釧路市



② 根室市



③ 網走市

